

別記様式第5号 事業計画書及び収支見積書（破砕業者用）記載例

平成16年7月1日現在作成

1-1. 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種を含む。）

解体業者から解体自動車を引取り、シュレッディングマシンで破砕後、鉄、非鉄、A S Rに分別する。 一部解体自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。分別・処理した物品の扱いは次のとおり。 鉄.....電炉メーカーに売却 輸出業者に売却 非鉄金属.....非鉄金属商社に売却 A S R.....自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡し					
業務時間	8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0	従業員数	20 人	休業日	日曜・祝日

1-2. 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	1 3 年度実績 ( 3 年前 )	1 4 年度実績 ( 2 年前 )	1 5 年度実績 ( 1 年前 )	許可取得後の 年間計画
引取台数	20,000 台	22,000 台	24,000 台	25,000 台
主な引取先	解体業者等	解体業者等	解体業者等	解体業者等

1-3. 破砕実績（圧縮のみ含む）

年 度	1 3 年度実績 ( 3 年前 )	1 4 年度実績 ( 2 年前 )	1 5 年度実績 ( 1 年前 )
年間処理実績	20,000 台	22,000 台	22,000 台
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	71 台 / 日	79 台 / 日	79 台 / 日

1-4. 破砕能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100 台 / 日	280 日	28,000 台

1-5. 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	1,200 台(m <sup>3</sup> )	保管量の上限	22,000 m <sup>3</sup>
現在保管量	1,000 台(m <sup>3</sup> )	現在保管量	7,000 m <sup>3</sup>

1 - 6 . 年間収支見積書

平成16年7月1日現在作成

項 目		前年度(15年) (決算月(3月))		今年度の見込み (年間)	
		年度 (千円)	(1台当 (円))	年度 (千円)	(1台当 (円))
売上高(全体)	ア(総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ(解体自動車等購入費)	-120,000	-5,000	75,000	3,000
経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
	うち廃棄物処理委託費	エ	4,000	26,200	1,000
営業利益	オ = ア - イ - ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ(主に支払利息(注))	-3,000	-130	-3,000	-115
経常利益	キ = オ + カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数		24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数		23,000		26,200	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額(年度末残高) (千円)	100,000	100,000

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。  
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上すること。  
 3 前年度の決算書の写しを提出する場合は、この「1 - 6 . 年間収支見積書」の記載を省略することができる。